



# The Daily MANILA SHIMBUN

## 「第三者の助けが必要」

### 路上生活家族の生計を疑似体験

#### ACC 21 の連続講座第2回目

NPO法人アジア・コミュニティ・センター 21 (ACC 21) は5日、フィリピンや国際協力に興味を持つ若者・社会人向け連続講座「フィリピンのストリートチルドレンのために私たちができること」の第2回をオンライン開催した。初回に続き、高校生や大学生、大学院生、NGO関係者ら 20 人近くが参加した。

「ストリートファミリーの生活を体験しよう」と題した今講座では、三つのグループに分かれ、より路上の実態を知るために、架空の家族を想定、月間の家計計算に取り組んだ。

ACC 21 の伊藤道雄代表理事は冒頭で、架空の家族を想定するにあたり、実地で複数の家族に聞き取りを行ったACC 21 比職員のジュード・ナティビダットさん (26) を紹介。昨年まで首都圏マニラ市のバランガイ (最小行政区) 青年評議会委員長を務めてきたナティビダットさんは、6 歳から8 年間、マニラ湾やロハスブルバード大通



よる NPO 法人アジア・コミュニティ・センター 21 によるオンライン上での連続講座第2回目 5日

編集 発行  
STEP JP PRINTING SERVICE, Inc.  
3/F No. 928 A. Arnaiz Ave., Brgy. San Lorenzo, Makati City, Metro Manila  
Tel. +(63)2-8551-8238 : 8807-8918  
<https://www.manila-shimbun.com>

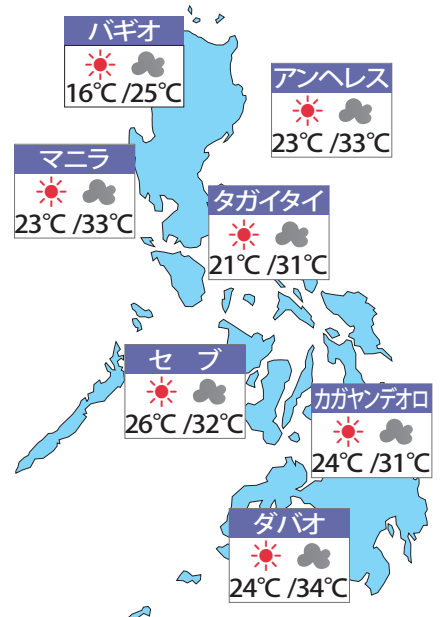


まにら新聞  
印刷発行事業部 / 広告事業部

#### 記事紹介

【比人船員4人死傷 紅海でフーシ派が襲撃】(3ページ)

#### きょうの天気と気温



日の出 (マニラ) 午前6時9分  
日の入り 午後6時5分  
前日の気温  
最高 33.2 (午後2時)  
最低 23.1 (午前6時)

り沿いでの路上生活を余儀なくされた。

後にACC 21の現地カウンターパート「チャイルドホープ」との出会いが、ナティビダットさんにとって大きな転機に。2016年には来日機会にも恵まれ、全国の青年指導者として比政府から表彰された。現在はチャイルドホープで働きながら、ACC 21の活動にも携わる。そんなナティビダットさんも講座の前半で加わった。

アクティビティーのはじめに日本における一週間の支出を参加者が発表。ある男子学生は、交際費を除いて週の食費や交通費は約7千円だとし、ACC 21でインターンをしている女性は、日々の食費を千円とし、買い物を控えれば、週5日の交通費とで1万円と算出した。

▽使途に試行錯誤

比の架空の4人家族の一員として家計簿を作成するグループ活動では、月収総額2万800ペソで、「父親」のゴミ拾いが1万3000ペソ(3万4500円)、「母親」のタマネギ販売が7800ペソ(2万1060円)

だった。その額を予め決まった分野別にグループ内でディスカッションしながら再配分した。自身を「大学進学を目指す高校生」と仮定し、カツカツの生活の中でいかに進学費用(貯金)を捻出するか、各自四苦八苦していた。

あるグループの発表では、食費4人分を1万2000ペソに抑え、養育費を500ペソに、衣服・美容院200ペソ、衛生用品など日用品800ペソ、学費2千ペソ、携帯代・通信費1130ペソなどと設定。そこから貯金として370ペソを捻出した。「これでは進学費用を貯めるのに何年かかるか」との声も聞かれた。別のグループでは高校生の「自分」が通学を諦めて働き手として加わり、収入を2万8000ペソに増額、タッチスクリーンを使用して通信教育を受講するとし、8500ペソを貯金に回すといった方策を考案していた。

▽多くの感想や気づき

活動後、「最低限の生活をしなければならない」という意識が悲しく、自分の生活との差をととても感じた。「結局子どもたちも働くことが避けられないのでは」との感想が聞かれた。学費と交通費が支出トップを占めたことで、「子どもを学校に通わせるより、家族が良い食事をした方が人生楽しいのでは」との見方もあった。

一方で「この状況で生活していくと貧困のスパイラルで、生活を維持していくだけの意識から抜けられず、第三者の助けが必要」「今自分は自由にお金を使えていて、この状況が幸せなことだと改めて感じた」との声も挙がった。

反対に、このような生活が一般化している比人にとって「普段から苦しいと思っているかは分からない」「両親ともに月にこれだけ働けていることは驚き。中には一日中座っているだけの父親やアルコール中毒、家庭内暴力も多い中、このお父さん、お母さんはがんばっている」との見方も。また、ある男性は「育ち盛りの子どもが食べられないのは、本人も外から見ても辛いと思う。やはり食費は大事」との思いを伝えた。

フィリピン  
大衆紙の話題



**高齢者夫婦を家政婦が殺害か** 首都圏ケソン市でこのほど、77歳と80歳の高齢者夫婦宅から出火し、焼け跡から2人の遺体が発見された。夫婦は頭部に殴られたような傷跡があり、火が発生する前に鈍器のようなもので殴られ死亡していた可能性が高いことが判明。この家で2年ほど働いていた家政婦が出火前にスーツケースを持ち外出していたことが分かり、身柄が拘束された。押収されたスーツケースからは10万ペソ相当の現金や貴重品が見つかった。警察ではこの家政婦が家から現金などを盗みだすために高齢者夫婦を殴り殺し、住宅に火をつけたとみて、共犯者の有無も含めて捜査を続けている。(7日・ブルガー)

トップニュース(7日)

- ≫ 下院全体委員会が憲法改正決議を承認 (マニラブレティン)
- ≫ 東南アジア諸国連合と豪州が南シナ海の平和維持を訴え (スター)

外国為替と株価動向(7日)

\$1 = P 55.820 (前回比0.05安)  
 = ¥147.89 (同1.64高)  
 比証券取引所株価指数 = 6,837.34 (前日比41.20 ▼)  
 日経平均株価 = 39,598.71円 (同492.07 ▼)

**市中両替レート**  
 1万円 = P 3,720、\$100 = P 5,570  
 (マニラ市の市中両替商調べ)



Club  
**BLUE**

大人の隠れ家的 JTV

マカティに待望のニュー JTV  
スーパーマガンダ 勢揃い!!

- セット : PHP 2,000/ セット (70min)
- 延長 : PHP 1,000/ セット (60min)
- 営業時間 : 8PM ~ 3AM
- Cell : 0956-175-0754
- 所在地 : 5038 Calderon Poblacion, Makati



Red Planet Makati (ブルゴズ) ちかぐ

最後にACC 21の広報・比事業を担う辻本紀子氏は、段ボールで生活しながらタマネギを売る女性や、50ペソでご飯の上に少量のおかず、スープをかけた食事で日々をしのぐ家族ら、インタビュー相手の実情を写真と共に伝えた。「両親が揃っていない家庭、夫が結核などの病気でしばらく仕事ができない、刑務所に入っている」など多様なケースがあることにも触れた。

伊藤代表も、自身がマニラ湾沿いでかつて出会った路上の家族の生活の惨状を紹介。今回のアクティビティを踏まえ「十分な食事も摂れない中で、はたして勉強へのモチベーションが起きるのか。みなさんの議論を聞いていて興味深かった」とも振り返った。次回は4月4日に「ストリートコースと交流しよう」と題した第3回が予定されている。

(岡田薫)

## 比人船員4人死傷

### 紅海でフーシ派が襲撃

7日の移民労働者省発表によると、紅海からアデン湾にかけての海域を航行していた貨物船がイエメンの親イラン武装組織フーシ派による襲撃を受けた。この襲撃でフィリピン人船員2人が死亡し、2人が負傷した。

紅海では昨年11月に日本郵船が運航するイスラエル所有の貨物船がフーシ派に拿捕され、比人17人を含む乗組員25人が人質になるなど、襲撃が相次いでいた。

同省は、襲撃事件の多発を受けて貨物船などの運航会社に対し、航路を変更したり、武装した警備員を乗船させるよう要請しているという。

同省によると、襲撃で無事だった残りの比人船員たちについては、船主や船員派遣会社が安全な港に連れて行き、比に帰国できるよう手配しているという。また、マルコス大統領も同省に対し、犠牲となった船員の遺族らに対する支援を行うよう指示した。

(澤田公伸)

## 看護師らにアンケート実施へ

### JPEPA状況把握で移民労働者省

移民労働者省(DMW)はこのほど通達を出し、日比経済連携協定(JPEPA)に基づき日本で働いているフィリピン人看護師および介護福祉士らの勤務実態などについてオンラインでアンケート調査を実施することを明かにした。

同省の移民労働者能力開発部(MWCDD)がウェブ上のオンラインフォームを使って比人看護師や介護福祉士の候補生らから勤務実態や課題、ユニークな体験などに関する情報を提出してもらい、データ

として集積する。これらデータに基づいてJPEPAを通じた候補生たちの送り出しプログラムにおける比政府の支援体制の拡充と、勤務実態の改善に向けたプログラムの最適化を図るとしている。

JPEPAは日比両国政府の間で2006年に結ばれたが、そのプログラムの一つが比人看護・介護士人材の受け入れ事業だった。2009年の受け入れ開始以降、これまでに3600人以上の比人候補生が日本に派遣された。

(澤田公伸)

## 比長期債A-に据え置き

### 日本格付研究所

日本格付研究所(JCR)は6日、フィリピンの外貨建て長期債信用格付を発表し、投資適格級の「A- (マイナス)」に、また見通しを「安定的」にそれぞれ据え置いた。マルコス政権が「中期財政枠組

み」に基づいて推進している財政再建が成果を上げており、財政健全化が進むと予想されることを理由に挙げている。

JCRは2021年3月に比の国債格付をBBB+